

研究発表手法論 (2単位)

担当者氏名 農業経済学専攻指導教授

◆学習・教育目標

研究発表手法論は、学協会登録学会等での口頭あるいはポスター発表を筆頭筆者として行う方法を修得する。大学院生は農業経済学研究総合演習のほかに外部資金の活用および課程博士論文の申請要件等から学会における研究発表の機会が多い。学会の個別報告の申請、原稿作成、パワーポイント活用などについて担当教員との議論をもとに講義を展開する集中科目である。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

学会報告 報告レジュメ 報告原稿 パワーポイント
ポスター発表

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1～8	学会個別報告原稿の作成方法	- 学会個別報告申請手続き (申請手続き方法の事前説明とその確認) - レジュメの作成方法 (その事前説明とレジュメ原案に関する議論) - 報告原稿作成方法 (その事前説明と報告原稿原案に関する議論)	担当教員による事前説明と大学院生の作成する原案に対して議論を行う。
9～15	発表表現方法	- パワーポイントによる個別報告表現方法 (その事前説明とパワーポイント表現原案に関する議論) - ポスター発表方法 (その事前説明とポスター発表原案に関する議論)	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

/ / ()

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

/ / ()

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

各種原案の作成（50点） 学会等報告（50点）

担当教員による指導内容および指導時間数の記録、プログラムおよび発表要旨のコピー、学会参加証明書（大会参加料の領収書）のコピーの提出を単位取得の要件とする。

◆その他受講上の注意事項

この科目は、筆頭報告者として学会個別報告の機会の多い後期博士課程2年次において修得することが望ましい。なお、ポスター発表の必要のない個別報告については、その時間を報告原稿作成等の時間に振り替えることができる。